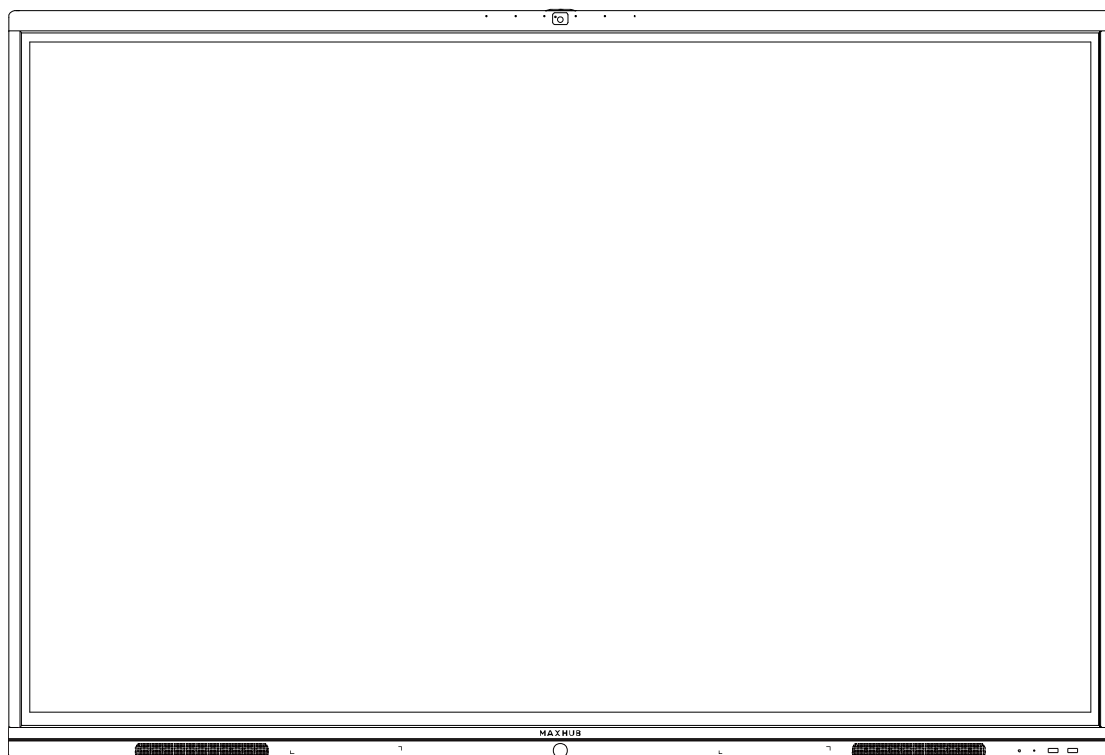


MAXHUB

V5 Cシリーズ



オールインワンミーティングボード ユーザーマニュアル

更新日：2023年10月31日

使用 MAU バージョン：MAXHUB_20230228_G.5.13.2.19

目次

使用上の注意.....	1
本書について	3
保証について	4
無償保証期間	4
保証期間の延長について	4
免責事項	4
同梱物一覧.....	5
<オプション>壁掛けについて.....	6
設置方法	7
各部の機能	9
インターフェース.....	10
本機電源操作.....	11
接続方法.....	11
ワイヤレス画面共有	14
ワイヤレスドングルを使用する場合.....	14
専用アプリケーション「MAXHUB Share」を使用する場合	17
「近くのデバイス」を使う場合（Windows & Mac OS のみ）	19
ホーム画面	20
1. ホワイトボード機能.....	20
2. プレゼン.....	30
3. サイドメニュー	30
4. Windows モード切替え	39
5. 全てのアプリ	39
6. 入力ソース切替え.....	39
その他の機能.....	40
1. ミニ黒板機機能	40
2. ウェルカムボード.....	40
3. ワイヤレス共有画面	41
4. MultipleShareClient	43
設定について.....	45
ネットワーク	45
一般設定	46
システム	47
FAQ.....	53
重量とサイズ.....	53
トラブルシューティング	54

使用上の注意

- 安全の為本機の操作の前に本書を必ずお読みになり、正しくお使いください。
- 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なる場合があります。

設置・使用に関する注意

- 本機の上に重量物を載せないでください。
- 磁気を発生する機器の近くには設置しないでください。
- 本機を不安定なスタンド、壁掛け金具等に設置しないでください。
- 本機の近くや上に液体を置いたり、液体をこぼしたりしないようにしてください。
- 本機の起動時は、本機の画面に触らないでください。画面に触れると、正しく動作しない場合があります。その場合は、本機を再起動させてください。
- 本機に接続しているコンピューターに他の **USB** 機器が接続されている場合、タッチパネル入力中に **USB** 機器を動作させないでください。正しく入力できない場合があります。
- 電磁波妨害に注意してください。
本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。
- 本機を設置しているスタンドや壁掛け金具などのネジに緩みがないか定期的に確認してください。緩んだままご使用になると落下によるケガや故障の原因になります。

電源に関する注意

- 電源ケーブルは必ずアースに接続してください。
- 電源ケーブルを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張る等無理な力は加えず、まっすぐ抜き差しをしてください。基板が損傷し、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本機に電源ケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。基板が損傷し、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 落雷の可能性が有る場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 電源ケーブルを破損・加工しないでください。また、重量物を載せたり、引っ張ったりしないでください。

各インターフェース(端子)の取り扱いに関する注意

- ケーブルを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張るなど無理な力は加えず、まっすぐ抜き差しをしてください。
端子が損傷し、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- サードパーティ製のケーブルをご利用の際は、ケーブルの重量等に考慮して選定してください。
重量のあるケーブルを使用しますと、端子に負荷がかかり破損する恐れがあります。
- 本機にケーブルを接続した状態で、端子の接続部に無理な力を加えないでください。端子が破損する原因となります。
- 本機に長時間ケーブルを接続させる場合は、端子の接続部のみにケーブル重量の負荷がかからないようケーブルを本機に固定する等の対策を講じて使用してください。

液晶・強化ガラスに関する注意

- 付属のペン以外の硬いものや鋭利なもので操作しないでください。強化ガラスが破損する原因となります。
- 衝撃を加えないでください。強化ガラス・液晶が破損する原因となります。
- 液晶のLEDバックライトには寿命があります。画面が暗くなる場合や、点灯しないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- お手入れのしかた
誤ったお手入れをした場合、本機を傷つける場合や故障の原因にもなりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、次のことを必ずお守りください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤などに布を浸して固く絞ってふき取り、最後に乾いた布で軽くふいてください。ベンジン、シンナーなどは使わないでください。変質する場合や、塗料がはげることがあります。
殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質する場合や、塗料がはがれる原因となります。ハンドクリーム、日焼け止めクリームなどが手に付いた状態で本機に触らないでください。変色、変形の原因となります。
軽い汚れをふき取るときは、めがね拭きなどの乾いた柔らかい布でそっとふき取ってください。市販の化学ぞうきんやクリーニングクロスなどは、販売元に確認してから使用してください。

使用環境(温度・湿度)に関する注意

- 本機を暖房器具の近くに設置しないでください。
- 周囲温度が5℃～35℃の範囲内でご使用ください。
- 周囲湿度が10～90%RHの範囲内でご使用ください。湿度が範囲以上になると結露が発生する場合があります。
- 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れしないでください。故障の原因となります（結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください）。
- 本機の熱を逃がしやすくするため、本機の背面・左右は10cm以上、上下は20cm以上の空間を空けてください。

直射日光・熱気に関する注意

- 高温になる場所に放置すると、機器が変形する場合や、故障の原因となることがあります。
- 液晶や周辺部品に悪影響を与えますので直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。
- 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください。
急激な温度差がある部屋（場所）で使用すると、画面の表示品質が低下する場合があります。

ワイヤレスドングル・タッチペンの取り扱いに関する注意

- ワイヤレスドングルやタッチペンを高所から落とさないでください。変形・破損の原因となります。
- ワイヤレスドングルを抜き差しする場合は、無理な力は加えず、まっすぐ抜き差しをしてください。変形・破損の原因となります。

海外での使用に関する注意

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。

本書について

- 本書に記載された会社名や商品名は各社の商標または登録商標です。個別の商標に関する注記については、こちらをご参照ください。

<https://nicemobile.jp/news/trademark/>

- 本書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。最新版は下記 URL よりご確認ください。

<https://nicemobile.jp/wp/wp-content/uploads/2022/09/v5c-m.pdf>

保証について

本機には保証書が同梱されています。無料修理規定をよくご確認のうえ、大切に保管してください。

無償保証期間

お買い上げより1年間 ※保証期間中でも有償になることがありますので、保証書・取扱説明書をよくお読みください。

保証期間の延長について

最長5年間まで延長可能です。(無償保証期間1年 + 追加延長保証4年)

※付属品(ワイヤレスドングル、タッチペン、付属ケーブル)の保証期間は延長できません。

※保証期間満了後の保証期間延長はできません。また保証期間満了の通知は行いませんので、予めご了承ください。

詳細な内容は本機をお買い上げの販売店にご相談ください。

免責事項

誤った使い方でのご使用は保証範囲の対象外になりますので、ご注意ください。

また以下のような場合は免責事項として、保証範囲外となりますのでご了承ください。

- ▶ 本書に記載する内容以外のご使用で故障および不具合が起きた場合
- ▶ お客様ご自身での修理や解体をした場合
- ▶ 仕様書に準じていない環境でのご使用により故障および不具合が起きた場合
- ▶ 自然災害(火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変)により故障および不具合が起きた場合
- ▶ 定格外の電源(異常電圧、異常周波数)での使用により故障および不具合が起きた場合
- ▶ 接地(アース線)未接続が原因による故障および不具合が起きた場合
- ▶ 18時間を超える連続使用に起因する不具合が起きた場合
- ▶ 搭載している Windows OS に起因する不具合が起きた場合
- ▶ 本機を Active Directory に参加させたことにより不具合が起きた場合
- ▶ 当社販売のセキュリティソフト以外のご使用により不具合が起きた場合
- ▶ お客様ご自身でご用意された周辺機器(ルーター・無線機器等)との相性により動作に不具合が起きた場合
- ▶ お客様ご自身でご用意されたアプリケーションとの相性により動作に不具合が起きた場合
- ▶ 接続端子が繰り返しの使用により摩耗し不具合が起きた場合
- ▶ ワイヤレスドングル、タッチペン、各種ケーブルが外力により変形・破損した場合

また、上記の原因で発生した物損、人身傷害も責任を負いかねますのでご了承ください。

認証マーク



®007-AK0019

同梱物一覧

- 本機 1 台
- ワイヤレスドングル 1 個
- 電源ケーブル 1 式
- デュアルタッチペン 2 本
- 保証書 1 部
- 安全にお使いいただくために..... 1 部
- 固定ネジ..... 2 本

〈オプション〉壁掛けについて

安全上のご注意

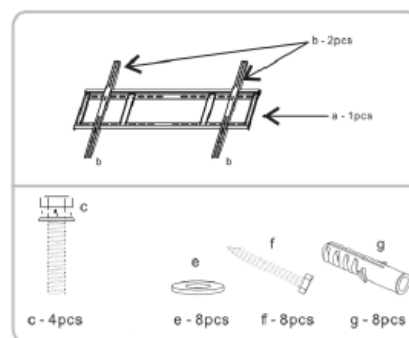
- ・ 設置作業は必ず相応の資格がある方が取り付けてください
- ・ 清潔で修理しやすい、風通しの良い場所に設置してください
- ・ 地面に対して垂直に設置してください。長辺は地面と平行に設置してください
- ・ 周辺は十分なスペースを空けてください
- ・ 可燃ガス、腐食環境に設置しないでください
- ・ 強い電磁波の近くに設置しないでください
- ・ 騒音、振動が強い場所に設置しないでください
- ・ 煙、風、湿気、直射日光、高温の場所に設置しないでください
- ・ その他本設備に危険を与える場所に設置しないでください

設置に関するご注意

- ・ 本製品を壁掛けされる場合、オプション部品（別売）が必要となります。
- ・ 壁掛けフレーム（オプション品）を使用すること
- ・ ネジ（オプション品）など専用部品を使用すること
- ・ 設置場所は水、電気、ガスの配管付近を避けること
- ・ 垂直の壁に設置すること
- ・ 十分強度のある壁に設置すること
- ・ 天井吊りなど特殊な設置方法の場合、強度、消防、熱、湿気、メンテナンスなど十分考慮して設置すること

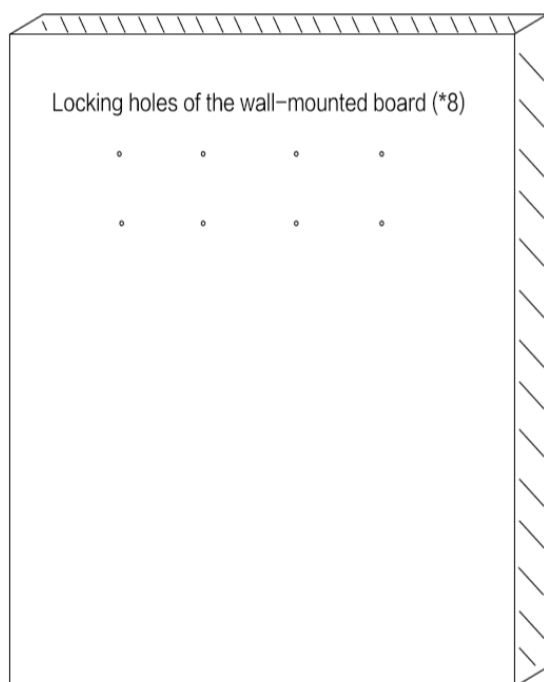
部品一覧（Code b、c 部品は本機に取付済み、その他はオプション別売。）

名称	Code	数量
壁掛けフレーム	a	1
掛け治具	b	2
8*25 ネジ	c	4
7mm ワッシャー	e	8
6.3*63 ネジ	f	8
12mm plastic expansion アンカー	g	8

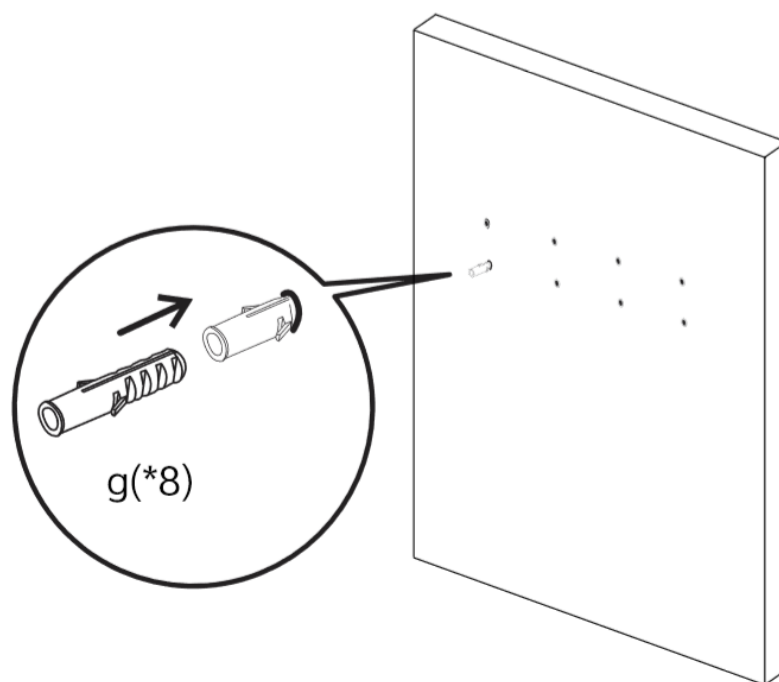


設置方法

- ・ 設置場所、高さ、ネジ穴を決める
- ・ 12mm ドリルで壁に穴を空ける（穴の深さは 12mm plastic expansion アンカー【g】より長くする）

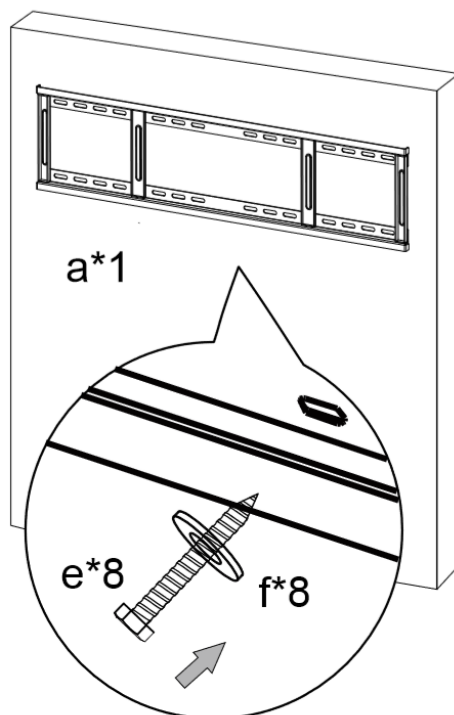


- ・ ハンマーで 12mm plastic expansion アンカー【g】を完全に穴の中に入れる

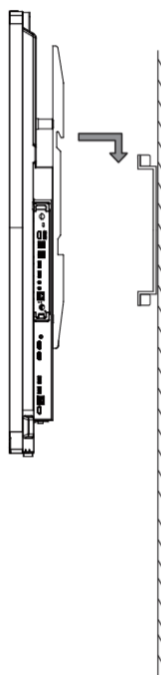


- ・ 12mm plastic expansion アンカー【g】がしっかりはまっていることを確認する

- 下図の通りに、壁掛けフレーム【a】を 6.3*63 ネジ【f】、7mm ワッシャー【e】で 12mm plastic expansion アンカー【g】 にしっかり固定する

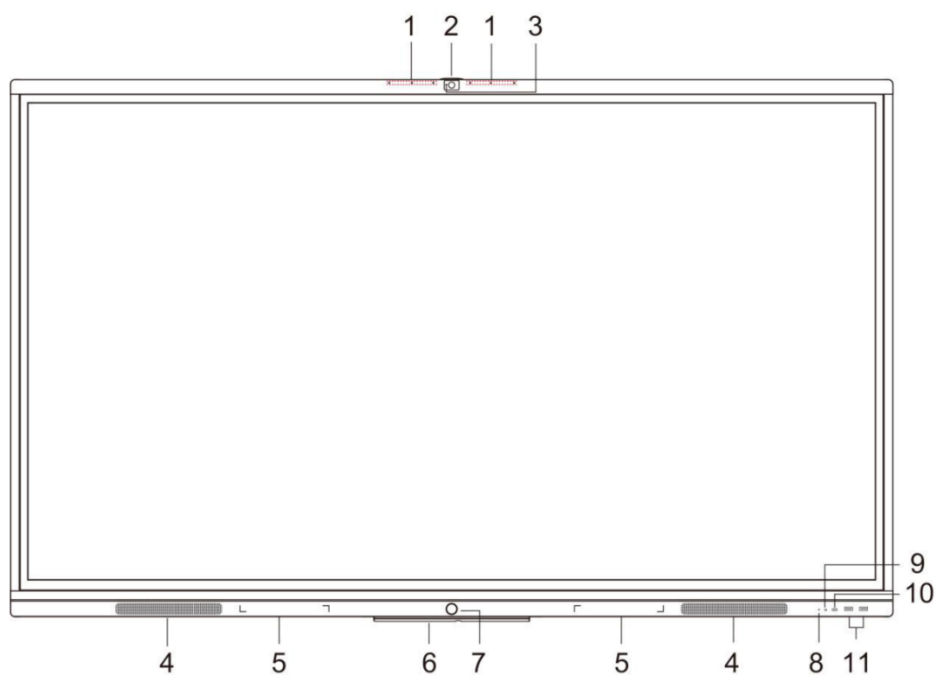


- 本体（掛け治具【b】取付済み）を壁掛けフレーム【a】に掛ける



- 本体が壁掛けフレーム【a】の中心に来るように調整する
- 別袋に梱包の固定用ネジで本体を壁掛けフレーム【a】にしっかり固定する

各部の機能



	名称	機能
1	アレイマイク	收音機能
2	HD カメラ	カメラ機能
3	カメラ LED	カメラ使用時に点灯します
4	スピーカー	音声出力機能
5	磁石エリア	ペンを設置する場所です
6	Wi-Fi Module	ワイヤレスモジュール
7	本機電源	2 秒以上押すとスタンバイモード (※1) になります
8	ライトセンサー	明るさを感知します
9	リモコン信号受光部	リモコンの信号を受信します
10	USB Type-C ポート	映像機器、カメラ、その他接続機器
11	USB Type-A ポート	USB メモリ、USB ハードディスク、キーボード、マウス等と接続できます

※1 スタンバイモード…画面を消した状態で、本機を待機状態にします。起動時間が短くなります。

インターフェース



番号	インターフェース	機能
i	USB 3.0	USB デバイス用端子 (5 個)
ii	HDMI OUT	HDMI 出力端子
iii	AUDIO IN	音声入力端子 (OMTP 規格)
iv	LAN	LAN ケーブル接続端子
v	HDMI IN	HDMI 入力端子
vi	TOUCH	TOUCH 信号出力端子
vii	AUDIO OUT	音声出力端子
viii	RS232	RS-232 端子
ix	USB 2.0	USB デバイス用端子
x	USB TypeC	USB TypeC 端子 (2 個)
xi	AC スイッチ	電源スイッチ。“-” はオン、“○” はオフ
xii	AC IN	AC 電源接続端子

本機電源操作

電源オン

- ① 電源コードの片方を本機に挿す
- ② 電源コードのもう片方をコンセントに挿す
- ③ AC スイッチを ON にする（本機電源の LED が赤に点灯します）
- ④ 本機電源を 1 回押す（本機電源の LED が青に点灯します）

電源オフ

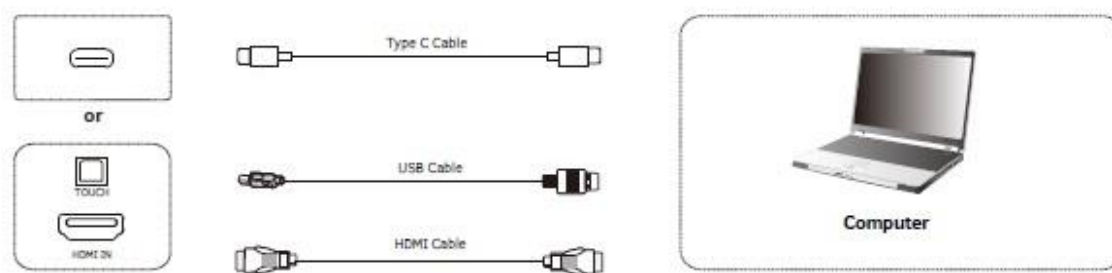
本機電源を長押しして、「電源オフしますか？」のメッセージが出たら、「OK」を押す。

※電源が ON の状態で AC スイッチを切ると故障の原因となる可能性があるのでご注意ください。

接続方法

- 安全のため、接続する前にすべての電源コードを抜いてください。

パソコンと接続する（双方向操作、本機のカメラ&マイク&スピーカーを使用する方法）



- 1) Type C 端子を使用する場合:” Type-C 端子の映像出力に対応したパソコン” と本機を” USB-Type CtoC ケーブル(Alternate mode 対応)” で接続する
HDMI ケーブル+USB ケーブルを使用する場合:パソコンと本機を HDMI ケーブルと USB-Type BtoA ケーブルで接続する
- 2) 本機電源コードを接続して、AC スイッチをオンにする
- 3) パソコンを起動する
- 4) 本機電源を 1 回押す
- 5) 本機画面にパソコン画面が投影され、操作可能な状態になります



NOTE:

推奨解像度 3840*2160.

パソコン推奨スペック:

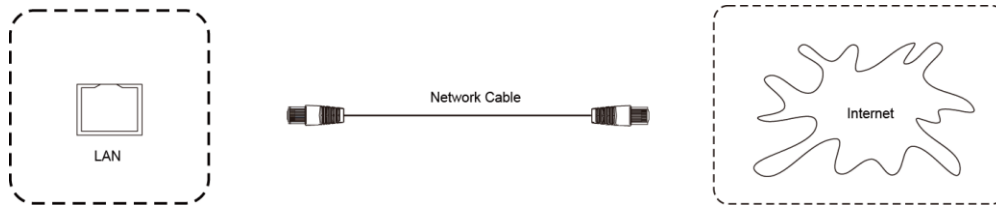
HDD: 1GB 以上の空き容量

CPU: 2.0GHz 以上 メモリ: 1GB 以上

インターフェース: HDMI OUT, Audio-OUT, USB,

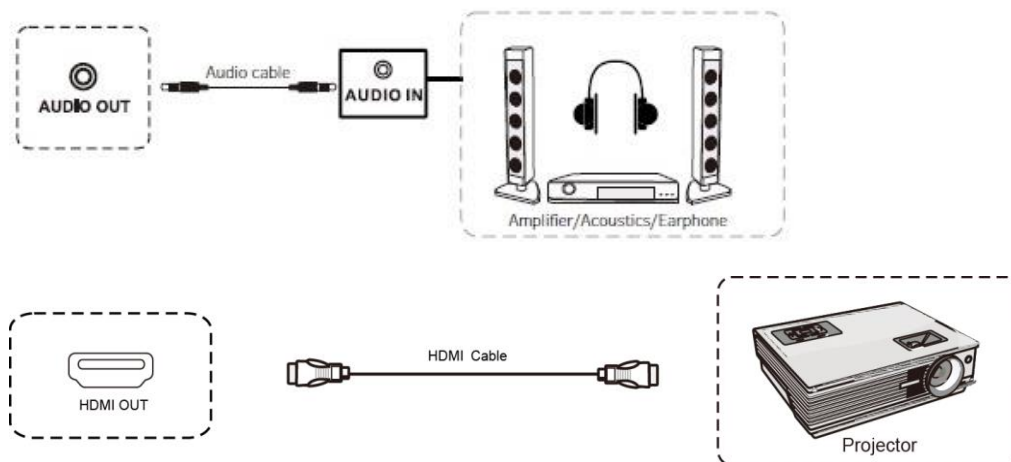
解像度サポート: 800*600, 1024*768, 1920*1080, 3840*2160 etc

LAN 接続



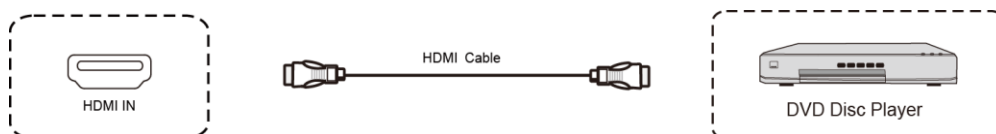
LAN ケーブルを使用してルーターと本機を接続できる。

Audio & Video 機器接続 HDMI 出力端子のある機器と接続するとき



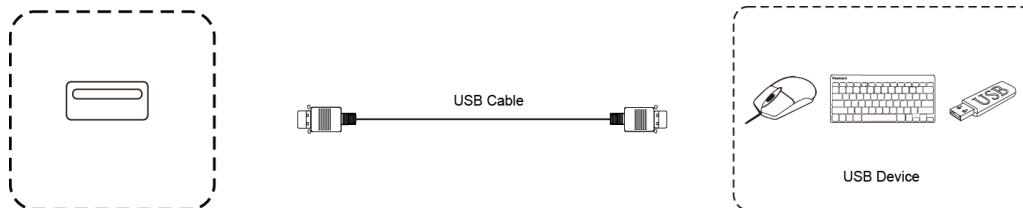
- 1) HDMI ケーブル, または Audio ケーブルで接続する
- 2) 本機電源コードを接続して、AC スイッチをオンにする
- 3) Audio&Video 機器を起動する
- 4) 本機電源を 1 回押す
- 5) 本機画面の入力ソースキーで HDMI に切り替える

Video 入力接続



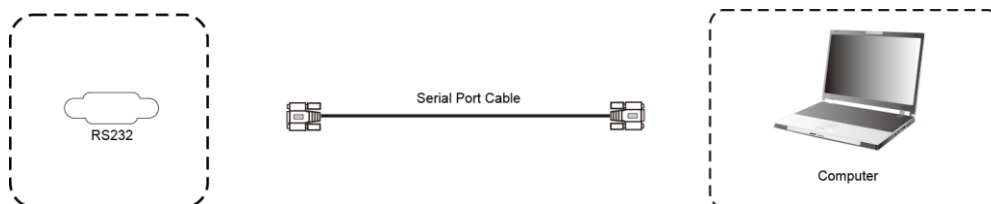
- 1) HDMI ケーブルで接続する
- 2) 本機電源コードを接続して、AC スイッチをオンにする
- 3) Video 入力機器を起動する
- 4) 本機電源を 1 回押す
- 5) 接続した機器から映像信号を出力できる

USB デバイス接続



USB ケーブルを使用して本機と USB 対応機器を接続できる。

RS232 接続



シリアルケーブルを使用して本機のコントロールができる。

例) 電源オン/オフ、音量調整など

ワイヤレス画面共有

ワイヤレスドングルまたは専用アプリケーションを使用して、パソコン・タブレット・スマートフォンの画面を表示することができます。本機上での操作は、画面共有された端末へ反映されます。最大6画面を同時表示できます。

ワイヤレスドングルを USBType-A 端子でパソコンに接続する場合、初回のみドングル投影用のソフトウェアのインストールが必要です。(ソフトウェアはドングルからインストールされます。)

ワイヤレスドングルを USBType-C 端子でパソコンに接続する場合、パソコンが USBType-C での画面出力に対応しているときソフトウェアのインストールは不要です。

備考：ワイヤレス画面共有の通信は、ポート:7382-7435 プロトコル:TCP/UDP を使用します。PC や本機にセキュリティソフトがインストールされている場合、通信が遮断されワイヤレス画面共有に失敗することがあります。その場合セキュリティソフト側で上記の通信情報を許可してご利用ください。(セキュリティソフトの操作・設定方法についてはソフトウェアの販売元にお問い合わせください。)

備考：ワイヤレスドングル (WT02A) は Thunderbolt 4.0 の Type-C 端子には対応しておりません。Type-A 接続をお使いください。

ワイヤレスドングルを使用する場合

ワイヤレスドングルと本機をペアリングする (初回のみ)

- ① ワイヤレスドングルを本機の USB Type-C 端子に接続します。
- ② 「ペアリングに成功しました」という表示が出たことを確認し、取り外します。

ワイヤレスドングルの設定 (Windows)

- ① ワイヤレスドングルを USB Type-C 端子または USB アダプターを付けてパソコンの USB Type-A 端子に接続します。

- ② USB Type-A で接続した場合

初回起動時：PC(マイコンピュータ)を開き、「CD ドライブ ScreenShare」を右クリックし「開く」を選択します。その後「ScreenShare.exe」をダブルクリックするとソフトウェアが起動します。初回起動時のみインストールの案内が表示されますのでインストールしてください。以降はドングルを PC に接続すると自動でソフトウェアが起動します。ソフトウェアが起動した後は下図のように「画面共有できます」と表示され、ワイヤレスドングルのランプが点滅から点灯に変わります。ワイヤレスドングルのボタンを押すと画面共有が開始されます。



③ USB Type-C で接続した場合

10 秒～15 秒待つと dongle のランプが点滅から点灯に変わります。ワイヤレス dongle のボタンを押すと画面共有が開始されます。

ワイヤレス dongle の設定 (Mac)

- 1 ワイヤレス dongle を USB 端子に接続します。
- 2 デスクトップに MAXHUB ドライブが表示されるので、開きます。



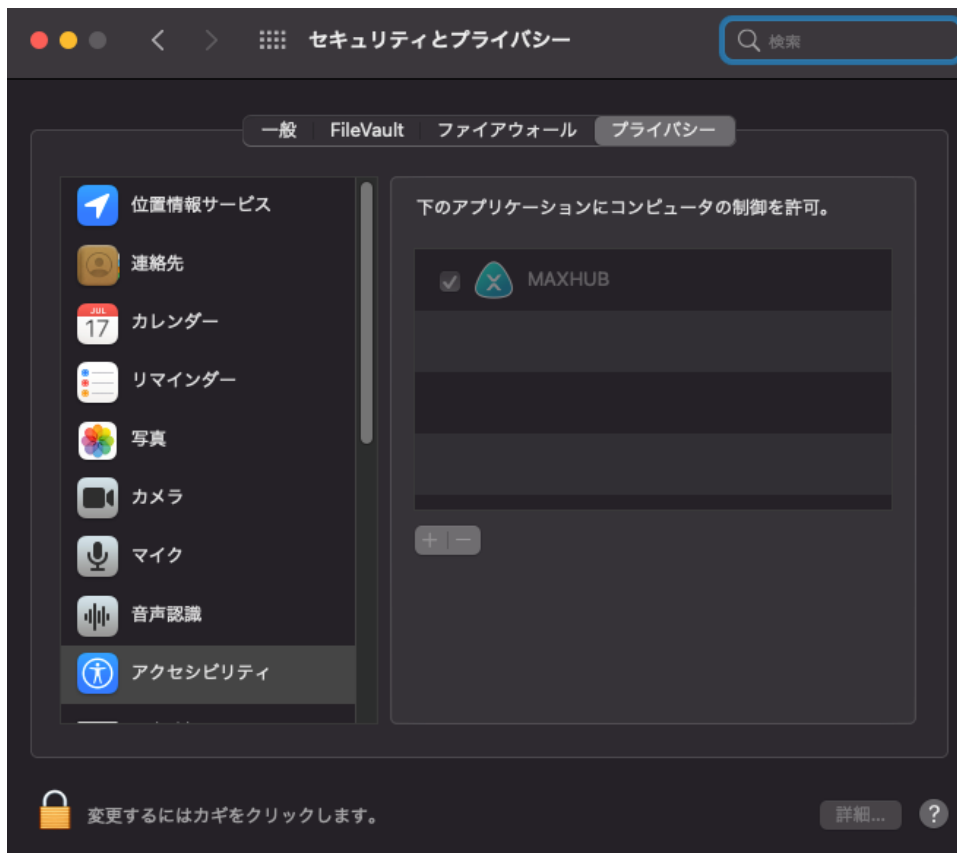
- 3 MAXHUB.app を実行します。



- 4 10 秒～15 秒待つと下図のように権限を求められるので「設定」を押してください。



- 5 「セキュリティとプライバシー」→「アクセシビリティ」の画面が出てきたら、鍵マークをクリックして使用する Mac のパスワードを入力してください。
- 6 鍵が解除されたら「MAXHUB」にチェックを入れて再度、鍵ボタンを押してください。



- 7 鍵が解除されたら「MAXHUB」にチェックを入れて再度、鍵ボタンを押してください。
- 8 下図が表示され、ドングルをクリックすると画面共有を開始できます。



ワイヤレスドングルの操作 (Windows・Mac 共通)

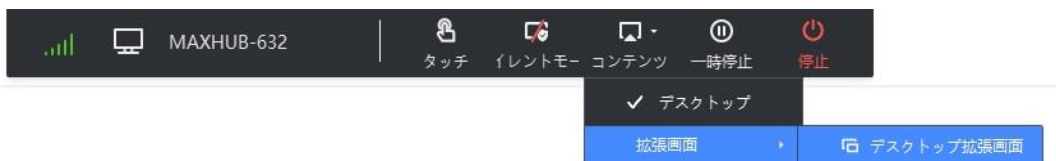
- ・ ボタンを1回押す…画面を表示します。再度押すと表示を解除します。
- ・ ボタンを長押し…2～6台の画面を分割表示します。最大6画面同時表示できます。

拡張ディスプレイを投影する方法

Windows&Mac OS

- ① ワイヤレスドングルを手元PCのUSB端子に挿します。
- ② 「共有画面できます」と表示されたらワイヤレスドングルのボタンを押してください。
- ③ 手元PC画面上部にカーソルを移動すると下図のようなドングルツールバーが表示されます。
- ④ ドングルツールバーの「コンテンツ」→「拡張画面」→「デスクトップ拡張画面」をクリックして有効にしてください。拡張ディスプレイが投影されます。※タッチモードが自動的に無効になります。
- ⑤ 拡張画面を複製画面にする場合はドングルツールバーの「コンテンツ」→「デスクトップ」をクリックして有効にしてください。

P C画面上部に表示される「ドングルツールバー」



専用アプリケーション「MAXHUB Share」を使用する場合

- ・ ホーム画面を左にスワイプすると下図のように手順が表示されます。手順に従って画面共有を行ってください。



スマートフォンやタブレット：

- ① QRコードをスキャンしてアプリ「MAXHUB Share」をダウンロードします。
- ② 「MAXHUB Share」を起動しQRコードをスキャンします。
- ③ 画面に従って操作してください。

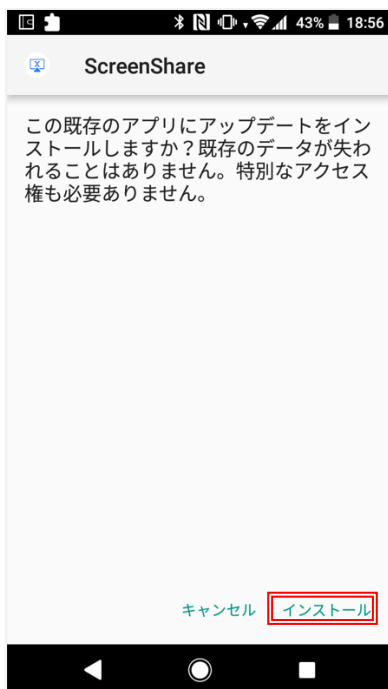
※Android 端末につきましては、下記の通り、許可設定を行う必要があります。

①のダウンロード後、インストールを実行すると、

「不明なアプリをインストールすることはできません」と表示されるため、「設定」を押してください。



インストールを押す。

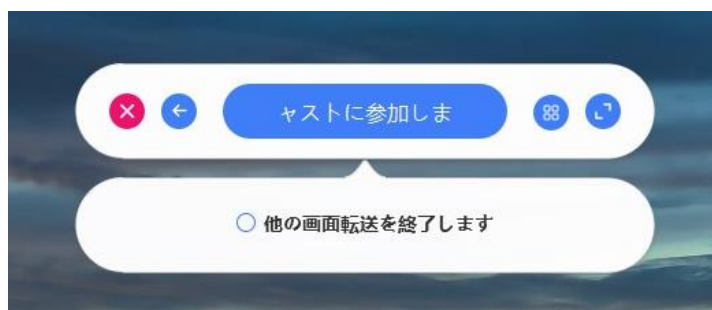


パソコン：

- ① 「MAXHUB Share」を下記サイトからダウンロード、インストールを行います。
https://www.maxhub.com/jp/maxhub_share
- ② パソコンをMAXHUBのホットスポットに接続するか、MAXHUBと同一ネットワークに接続します。
- ③ 「MAXHUB Share」を起動し、本機に表示されている6桁の接続コードを入力します。

「近くのデバイス」を使う場合（Windows & Mac OSのみ）

- ① パソコン版「MAXHUB Share」をWi-Fi機能を有するパソコンにインストールしてください。
- ② アプリケーション起動し、画面下の「デバイスの近く」をクリックしてください。
- ③ お近くのMAXHUBが自動検索されますので、画面に従って画面共有を行ってください。

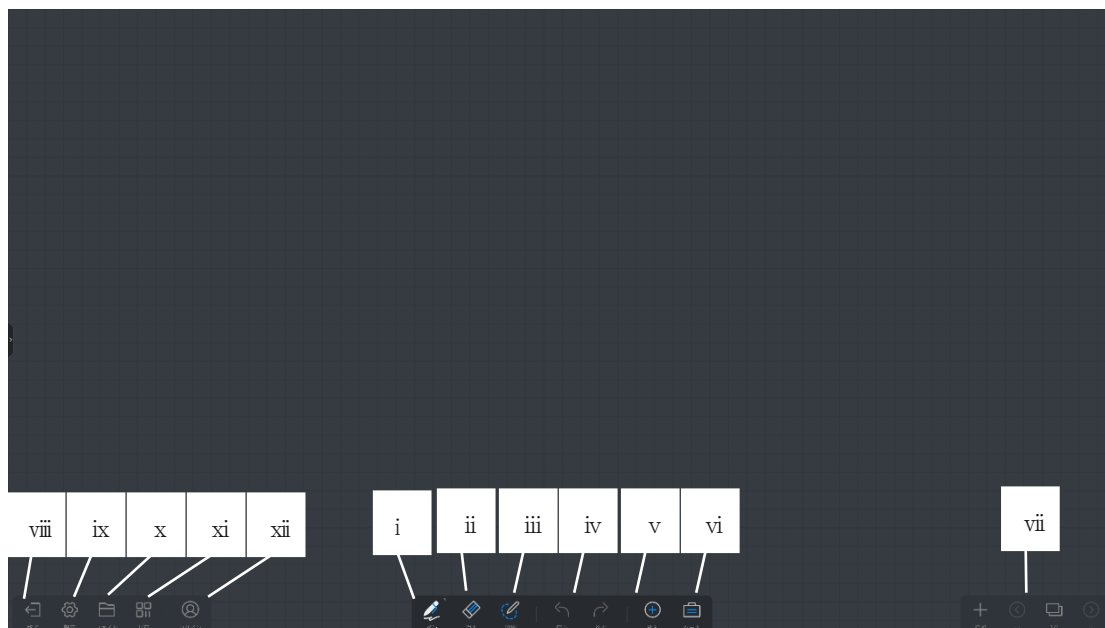


ホーム画面

ホーム画面のアイコンから各機能を起動します。



1. ホワイトボード機能

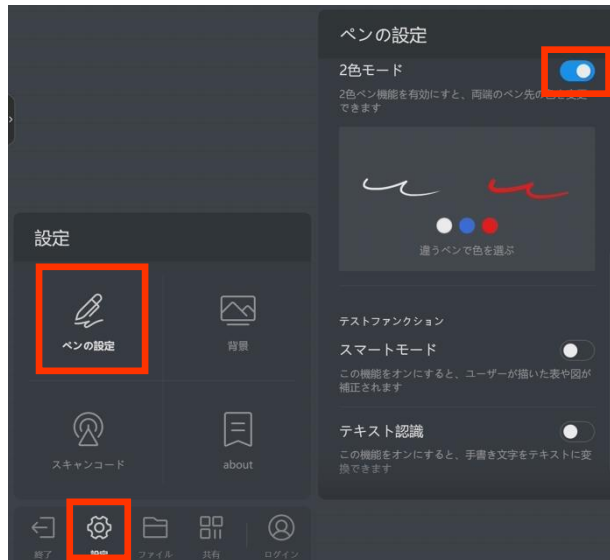


i. ペンモード

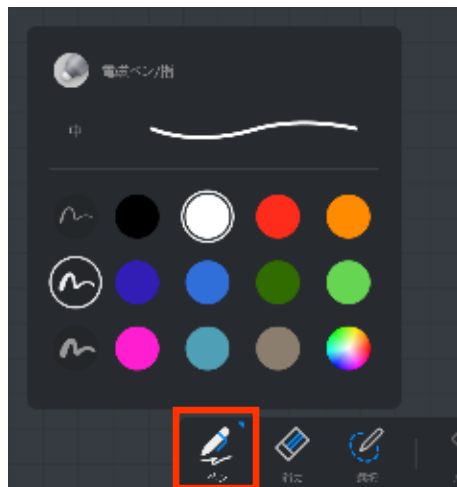
ペンの種類、太さ、色等が選択できます。

【2色モードの使い方】

① 設定→文字を書く→2色モードをONにします



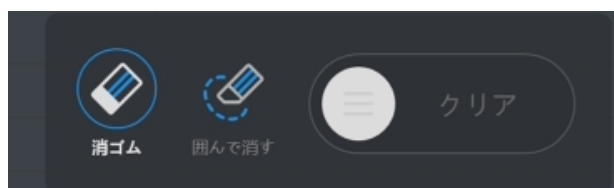
② 太い/細いペン先でそれぞれの色、太さを選択します



③ 選択した色、太さで書き込みできます

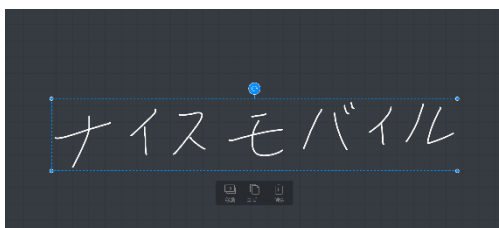
ii. 消しゴムモード

「通常の消しゴム」か「囲んで消す」モードを選択できます。またクリアで全消去ができます。



iii. 選択モード

選択部分の移動、縮小拡大、コピー、削除をすることができます。



iv. 「戻る」／「進む」ボタン

「戻る」で直前の操作に戻り、「進む」で直後の操作に戻ります。

v. 挿入モード

図表や各種ファイルを挿入することができます。



- ・テーブル…表を挿入します
- ・図形…各種図形を挿入します
- ・マインドマッピング…マインドマップを挿入します
- ・イメージ…画像ファイル(jpg, png 等)を挿入します
- ・ファイル…文書ファイル(pdf 等)を挿入します
- ・マルチメディア…メディアファイル (mp3, mp4 等) を挿入します

vi. ツール

メモ、タイマー、投票、ファイル転送機能を使用することができます。



- ・タイマー機能
…[3. サイドメニュー VIII. タイマー](#) を参照
- ・投票
…[3. サイドメニュー VI. 投票](#) を参照
- ・ファイル転送
…[3. サイドメニュー III. ファイル転送](#) を参照

● メモ機能

ホワイトボード上か端末上でメモを作成してホワイトボードに貼り付けすることができます。

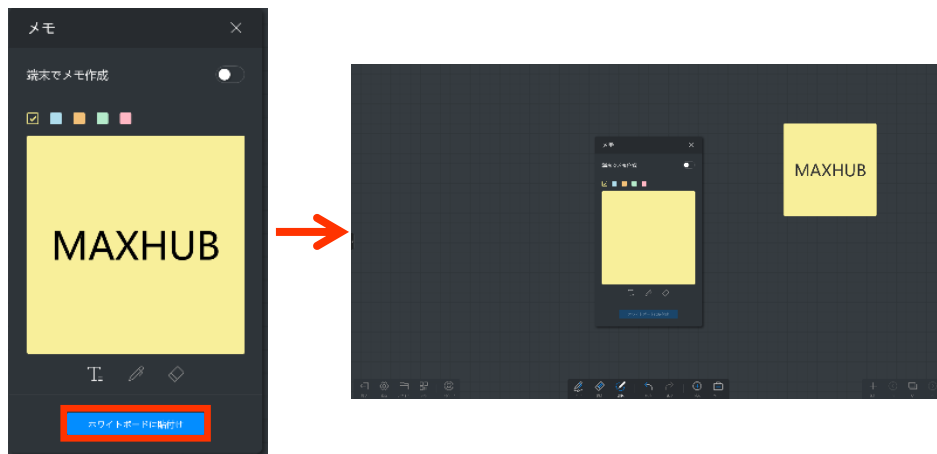
貼り付けた後メモを選択すると、移動、コピー、削除ができます。

機能の使用にはネットワーク環境が必要となります。


➤ ホワイトボード上でメモを作成して貼り付ける手順

① テキスト入力かペン入力を選択し、貼り付けたい内容を記入します。この時メモの色を変更できます。

② 「ホワイトボードに貼付け」を選択すると、ホワイトボードへ貼り付けできます。



➤ スマホ等の端末でメモを作成して貼り付ける手順

- ① [端末でメモ作成]を ON にすると、QR コードが表示されます。
- ② スマホ等の端末で QR コードを読み込むと、メモの入力画面にアクセスできます。
- ③ テキストを入力  し、を押すと、ホワイトボード上にメモが転送されます。



● 共有ホワイトボード機能

遠隔地の MAXHUB と通信し、複数の MAXHUB からホワイトボードの編集を行うことが可能です（音声通話機能付）。

機能の使用にはネットワーク環境が必要となります。

ログイン不要で最大 4 台の MAXHUB から利用可能です。

共有ホワイトボード終了後も、各 MAXHUB には編集したデータが残ります。

ホワイトボード共有機能を使用中は、一部機能の利用が制限されますのでご了承ください。（テキスト認識機能やスマートモード等）

● 使用手順

ホワイトボード> ツール> ホワイトボード共有> 作成もしくは参加を選択すると、ホワイトボード共有が開始されます。



・ 共有グループを作成した場合

共有グループを作成後、画面左上に参加コード(8桁)が表示されます。

共有グループに参加するユーザーに参加コードを共有してください。

・ 共有グループに参加する場合

参加コード(8桁)を入力してください。

ホワイトボード共有を開始後、コントロールパネルは画面右に、ビューは画面右下に表示されます。

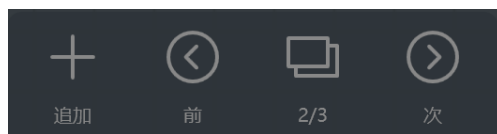


コントロールパネル・・・共有グループの終了と退出、マイクのミュートとミュート解除の操作ができます




ビュー・・・ホワイトボード全体を見ることができます

vii. ページの追加／前／次／ページ一覧ボタン

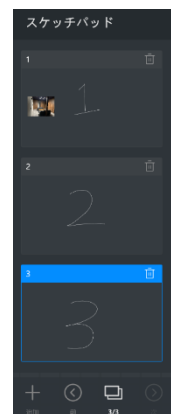


+追加…ページを追加

<前…前のページを表示

…ページの一覧を表示

>次…次のページを表示



viii. 終了

ホワイトボード機能を終了します

ix. 設定

ペンの設定や背景の設定、QRコード共有の設定をすることができます。

● ペンの設定

- ・筆ペンモード … ON にすると書いた文字が筆のように表示されます
- ・マルチライティング … ON にすると複数人での書き込みができます(最大 20 人)
- ・2色モード … ON にするとペンの両端の色・太さを設定できます
- ・スマートモード … ON にすると書いた図形が自動で補正されます
- ・テキスト認識 … ON にすると書いた文字が自動で補正されます

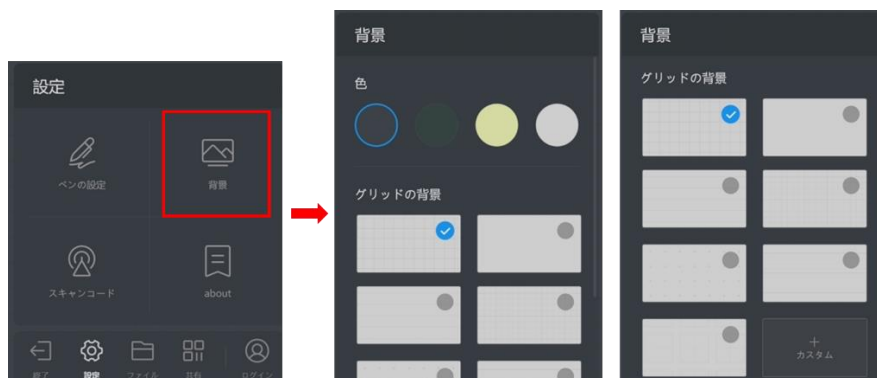


- スキャンコード (QRコード共有の保存オプションを選択)
 - ・クラウドサーバー経由 … ONにするとホワイトボードの内容をネットワーク経由で保存できます。遠隔地からでも保存が可能です。内容はjpg形式で保存されます。
 - ・LANモード … ONにするとホワイトボードの内容を保存できる端末が、「同一ネットワーク内にある端末」もしくは「本機のホットスポットに接続している端末」に限定されます。内容はpdf形式で保存されます。



- 背景

ホワイトボードの背景・グリッドの変更、また任意の背景に変更できます。



x. ファイル

ホワイトボードの内容の保存、内容のメール送付・印刷をすることができます。

また、保存されているデータをホワイトボードに挿入することができます。



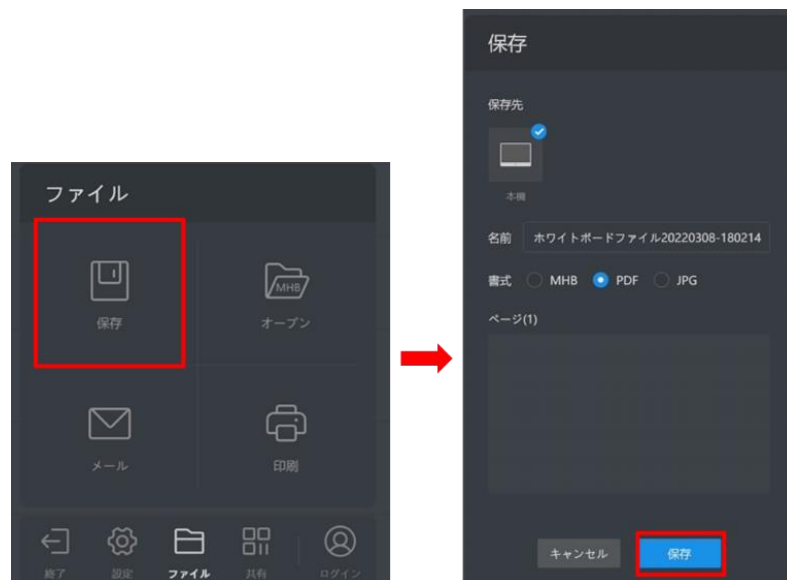
- 保存

編集した内容を保存できます。

保存先：「本機」を指定した場合、マイドキュメントに指定されているフォルダに保存されます。

「本機」以外に USB メモリや、連携したクラウドに保存できます。

保存形式：PDF、JPG、MHB（ホワイトボード専用の形式で、保存すると続きから編集が可能）



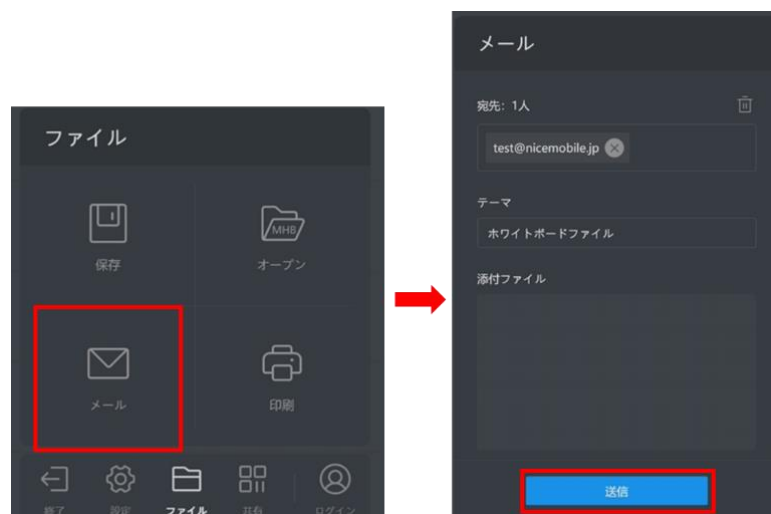
- メール

編集した内容をメールで送信できます。

ファイル形式：PDF

本機の設定>システム-メールサービス で送信元のメールボックスを設定してください。

「宛先」で入力したメールアドレスへ、設定したメールボックスから送信できます。



- オープン

保存した MHB ファイルを開き、編集を再開できます。



- 印刷

指定したページをプリンタで印刷できます。

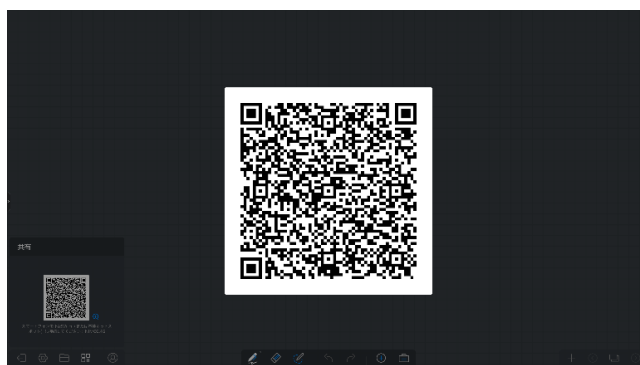
Windows 上で規定に設定されたプリンタで印刷されます。用紙のサイズは A4 で固定されます。



xi. 共有

端末で QR コードを読み込むと内容の保存が出来ます。

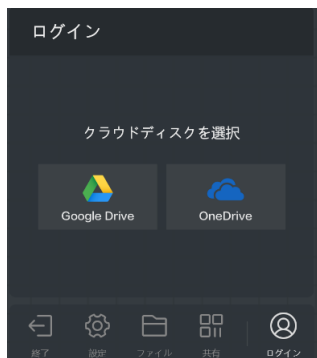
設定で「クラウドサーバー経由」を選択している場合、「ファイルの暗号化」を使用しパスワードを設定できます。



xii. ログイン

GoogleDrive または OneDrive と連携できます。

連携後はクラウド上に内容を保存できます。またクラウド上のデータをホワイトボード上に挿入できます。



2. プレゼン

本機や接続した USB メモリに保存されたデータを表示することが出来ます。

“マルチフィンガースライド機能”

パワーポイント等でスライドショーを実施している際に、2本以上の指でスワイプさせることで素早くページの送り・戻りを実行することが出来ます。

3. サイドメニュー



前の操作に戻ります。

ホーム画面（起動時）の画面に戻ります。

実行中のタスクを表示します。

ガジェット（ショートカット）を表示します。※1

アノテーションモードに切り替えます。※2

<<※1 ガジェット機能について>>

下記の画面が表示されます。



I. 設定…設定画面を起動します。

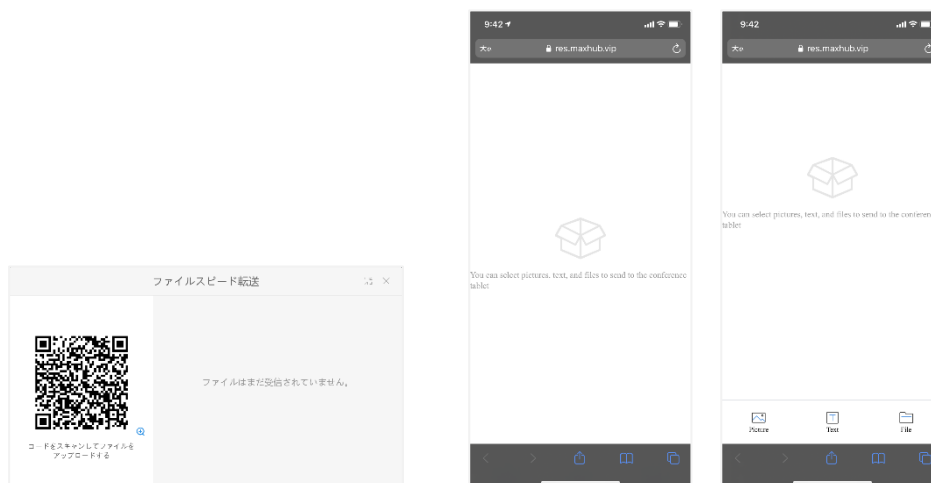
II. Screen Share

ワイヤレス画面共有の設定画面を表示します。



III. ファイルスピード転送

ファイル転送に必要な QR コードと受信画面を表示

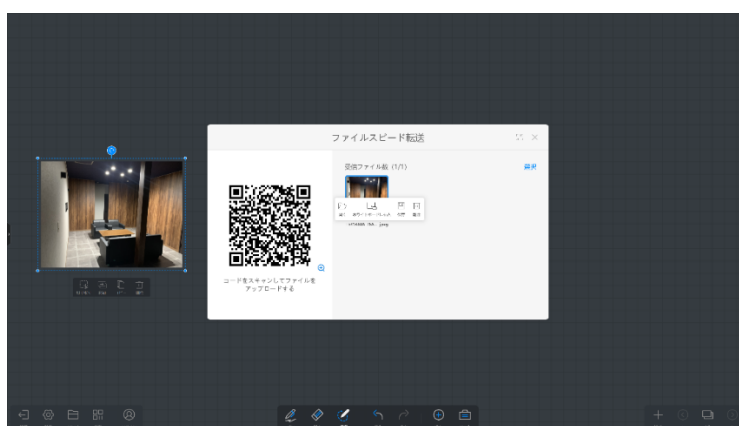


- ① スマホで QR コードをスキャンします。
- ② 画面を少し下に下げると、ファイル選択項目 (Picture, Text, File) が表示されるので、送信したいファイルの種類を選択します。
- ③ 送信したいファイルを選択すると MAXHUB 本体へファイルが転送されます。



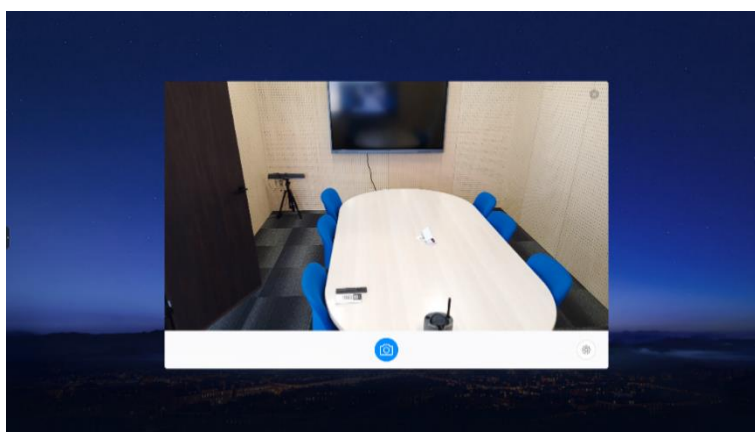
【ホワイトボードへの挿入】

転送したファイルを選択し、[ホワイトボードへの挿入]を選択すると挿入できます。

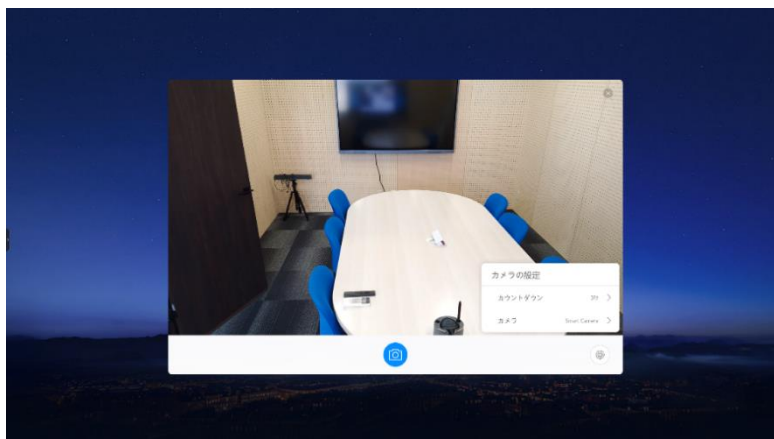


IV. カメラ

カメラ機能を起動します。



写真はホワイトボードに貼付することができます。

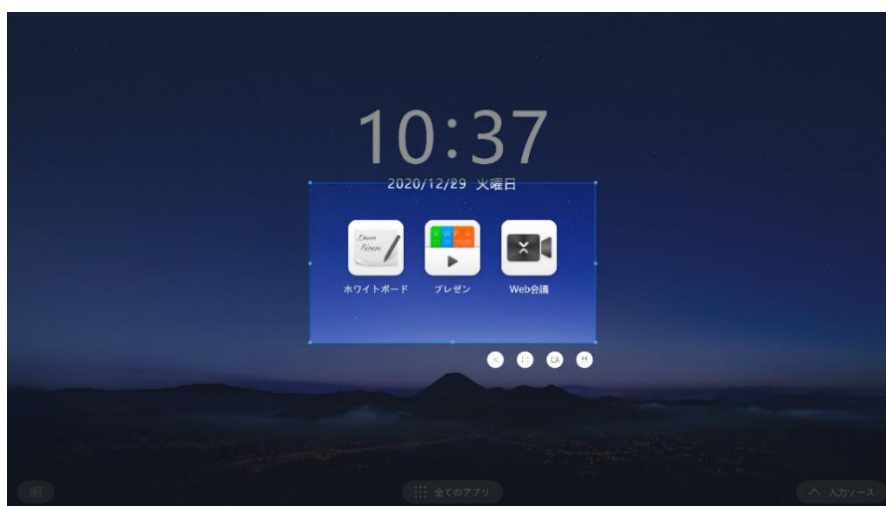






右下の  マークを選択すると、カウントダウン(タイマー)機能を設定できます。

MAXHUB に外部カメラを接続することで、外部カメラとの切り替えも可能です。

V. スクリーンショット

画面のスクリーンショットを撮影します。



-  … スクリーンショット機能を終了します。
-  … 選択範囲を全画面に拡大します。
-  … スクリーンショットを撮影→ホワイトボードへ挿入します。
-  … スクリーンショットを MAXHUB 本体へ保存します。

VI. 投票

投票機能を起動します。



投票項目数を設定します。

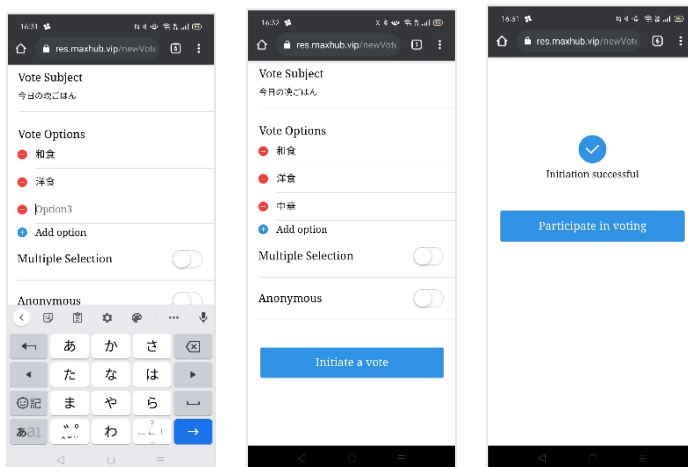
- ・匿名
…名前を入力せず匿名で投票できます。
- ・複数選択
…投票する項目を複数選択できます。

【投票項目を設定】

① [項目名を設定]を選択すると QR コードが表示されます。



② スマホで QR コードを読み込むと項目設定画面が開くので、各項目を入力し、[Initiate a vote]を選択します。



【投票する】

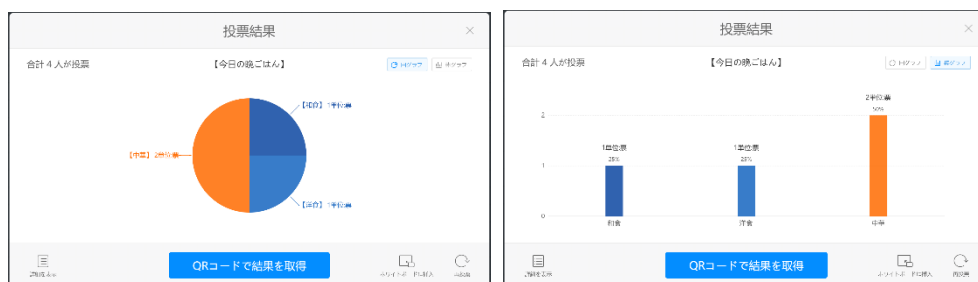
- ① [QR コードを生成]を選択すると QR コードを表示します。
- ② スマホで QR コードを読み込み、投票します。



【投票結果を表示する】

- ① [投票結果を表示]を選択すると、結果を表示します。

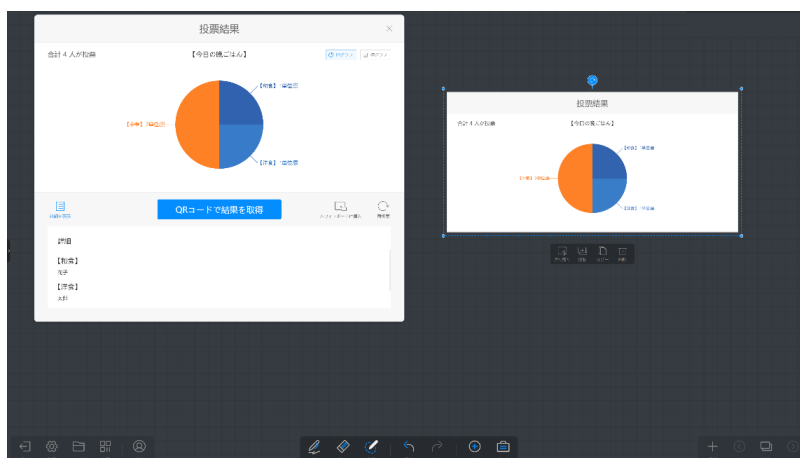
※結果の表示は円グラフと棒グラフを選択することが出来ます。



【ホワイトボードに挿入する】

[ホワイトボードに挿入]を選択すると、結果のグラフを挿入できます。

挿入したグラフは、切り取り、移動、コピー、削除が可能です。



【投票結果を取得する】

- ① [QRコードで結果を取得]を選択すると、QRコードを表示します。
- ② スマホでQRコードを読み込むと、結果をスマホ画面に結果を表示します。



VII. 画面録画

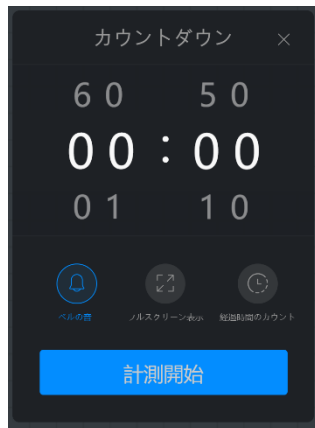
画面と音声を録画できます。



VIII. タイマー

タイマー機能を起動します。

[計測開始]を選択すると、設定した時間でカウントダウンが始まります。



- ベルの音

…ON にすると残り時間の3秒前からカウント音を鳴らすことができます。

- フルスクリーン表示

…カウントダウンの画面を全画面表示します。

【経過時間のカウント】

設定すると、タイムアウト後の時間も計測します。



IX. 音量…音量の大きさを調整します。

X. 画面の明るさ…画面の明るさを調整します。

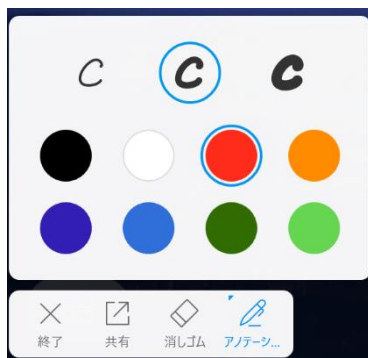
<<※2 アノテーションモードについて>>

本機使用中に画面へ書込みができます。



- ペンモード

ペンの色、太さを選択できます。



- 消しゴムモード

書き込んだものを消去することができます。



- 共有

書き込んだ画面を保存して共有することができます。



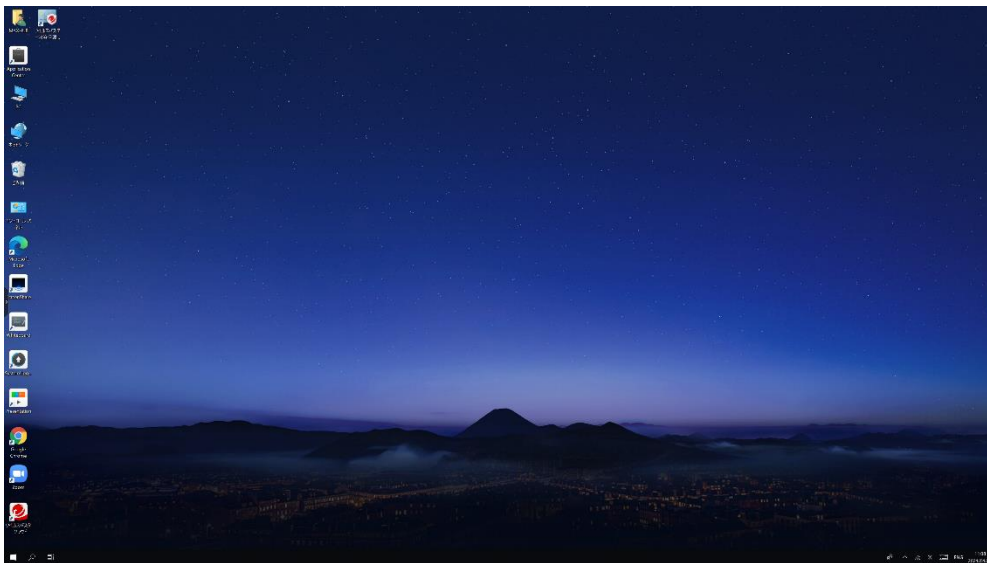
- 終了

アノテーションモードを終了します。



4. Windows モード切替え

Windows 画面表示に切り替えます。



5. 全てのアプリ

ホーム画面にないアプリケーションを起動できます。



6. 入力ソース切替え

外部入力がある場合、画面右下に自動的に“入力ソース”アイコンが表示されます。

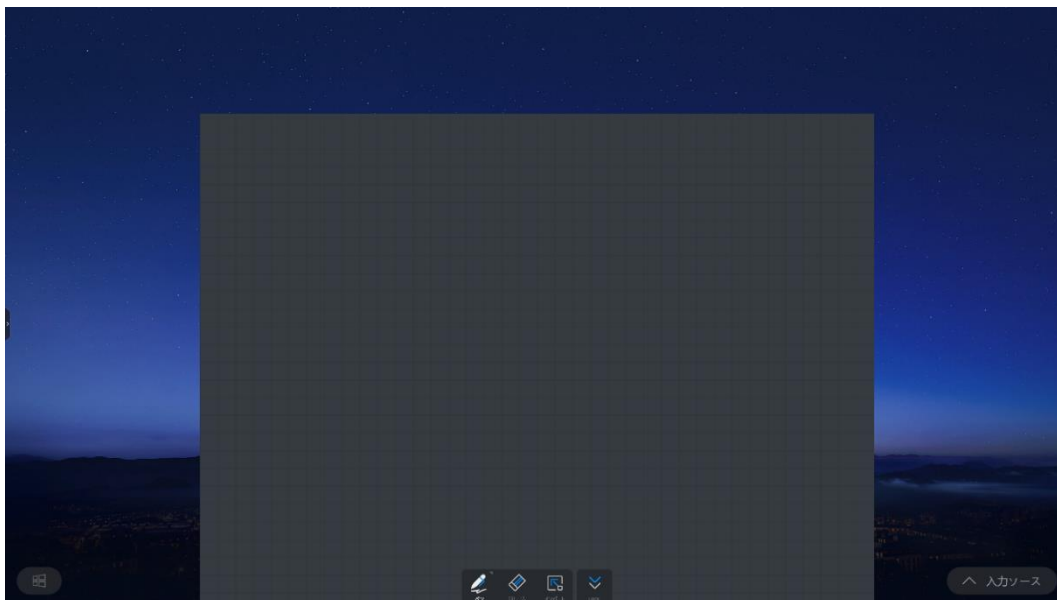
タップすると切替先の選択ができます。

その他の機能

1. ミニ黒板機能

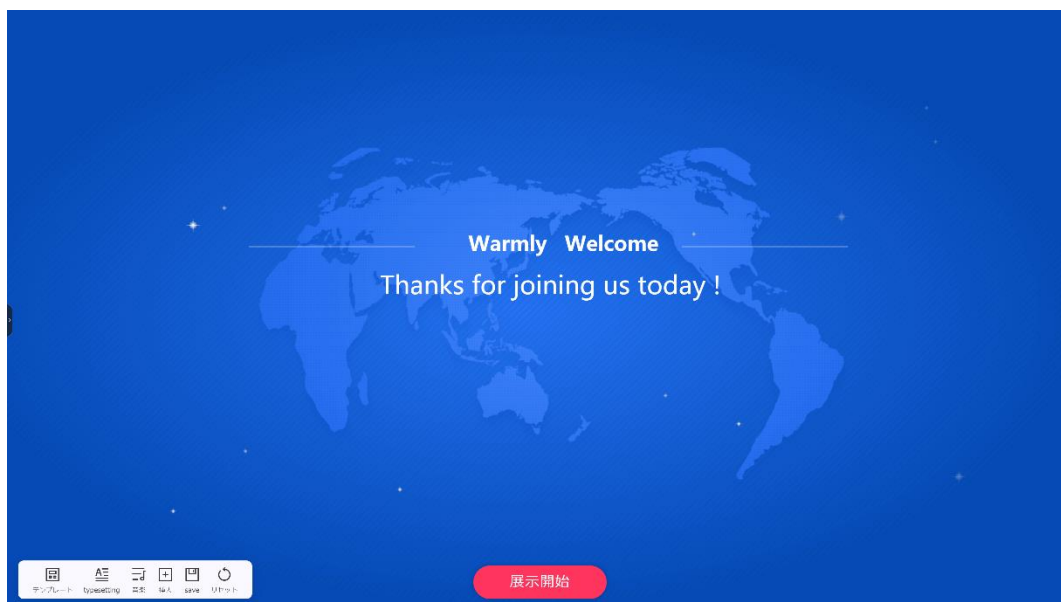
画面下面（ボトム）からフリックすることでミニ黒板を起動することができます。

他の機能を使用中でもミニ黒板機能を起動することができます。



2. ウェルカムボード

ホーム画面を右にスワイプすることでウェルカムボード機能を起動することができます。



左下のメニューアイコンから編集することができます。

- ・テンプレート…テンプレートを変更します。
- ・typesetting…表示されるメッセージを変更します。
- ・音楽…BGMを設定できます。
- ・挿入…画像、テキスト、動画、ドキュメントを挿入できます。

- ・ save…設定した内容をテンプレートに保存します。
- ・ リセット…変更した設定内容を削除し元の画面に戻します。

3. ワイヤレス共有画面

ホーム画面を左にスワイプすることでワイヤレス共有画面を起動することができます。

画面共有の手順が案内される他、画面共有の設定や専用アプリ「MAXHUB Share」を使用してファイル転送ができます。

○画面共有の設定



接続コード表示 …ON にすると画面右上に 6 桁の接続コードが表示されます。

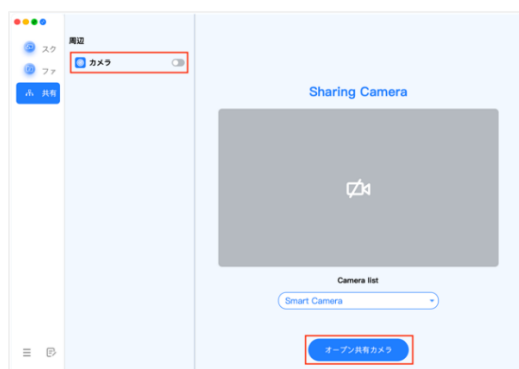
セーフモード …ON にすると専用アプリ「MAXHUB Share」で画面共通する際に接続コード(4 桁)が求められるようになります。接続コードは本機の画面上に表示されます。

デバイス認識 …ON にすると専用アプリ「MAXHUB Share(PC 版のみ)」の「X-link」機能を利用した際、MAXHUB が認識されるようになります。

カメラ共有 …ON にすると専用アプリ「MAXHUB Share(PC 版のみ)」の「カメラ共有」機能を利用して、PC から本機のカメラを利用できます。この項目を ON にした場合、自動でセーフモードが ON になります。

● 使用方法

専用アプリ「MAXHUB Share」を起動し本機と接続した後、「カメラ」をオンにし「オープン共有カメラ」をクリックします。



会議アプリのカメラデバイスに” Sharing Camera”が表示され、選択すると使用できます。



○ファイル転送

専用アプリ「MAXHUB Share」を使用して、本機と端末間でファイルの送受信ができます。(ドングル接続時は不可)

- ・本機から端末へファイルを送信する場合

「ワイヤレス画面共有」画面右上のアイコンをタップするとファイル転送画面が表示されます。

⊕ボタンを押すと送信するファイルを選択できます。選択後、本機と接続済みのデバイスにファイルを送信できます。



ファイルを送信後、端末側でファイルの受信を確認すると保存されます。



・端末から本機へファイルを送信する方法

端末で専用アプリ「MAXHUB Share」を起動し「ファイル転送」を選択するとファイル転送画面が表示されます。①ボタンを押すと送信するファイルを選択し、「送信」ボタンを押すとファイルが本機に送信されます。



ファイルを送信後、端末側でファイルの受信を確認すると保存されます。



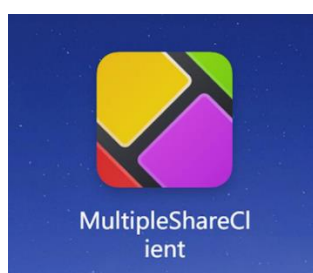
4. MultipleShareClient

MultipleShareClient を使用し、MAXHUB の画面を同一ネットワーク内に存在する他の MAXHUB に共有可能です(最大 4 台)。

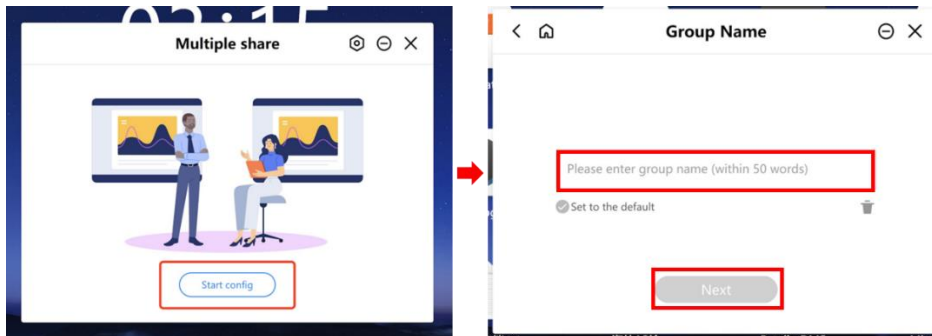
共有先の MAXHUB の情報を「グループ」として設定の保存が可能です。画面共有時に保存した設定の呼び出しが可能です。

○使用手順

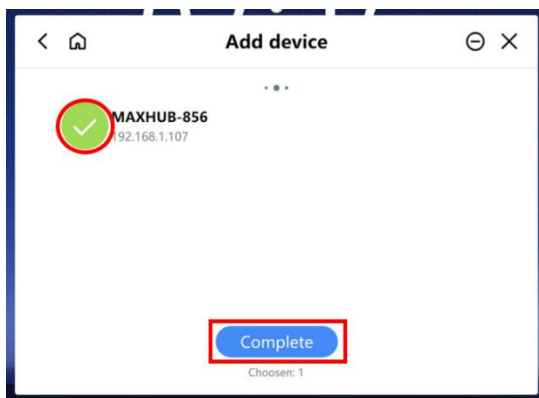
ホストとなる MAXHUB で、「MultipleShareClient」を実行します。



「Start config」 をタッチすると、グループ名の入力画面に移ります。
グループ名を入力してください。

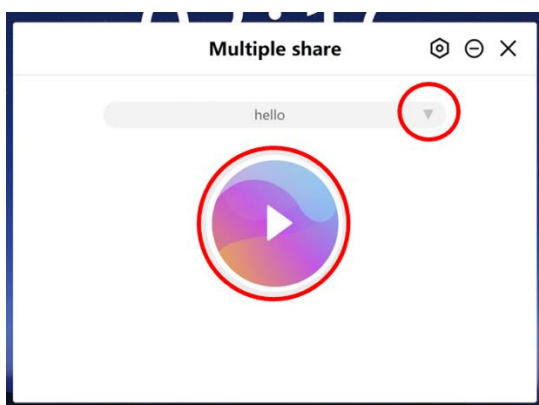


グループ名を入力後「Next」 をタッチすると、同一ネットワーク内の MAXHUB が表示されます。
画面共有したい MAXHUB を選択し、「Complete」をタッチするとグループが作成されます



「▼」で作成したグループを選択したのち、「▶」アイコンをタッチすると画面共有が開始されます。

※共有先の MAXHUB はセーフモードを OFF にし、デバイス認識を ON にしてください。




設定について

ネットワーク

各種ネットワークの設定ができます。

ホットスポットの設定以外は Windows の設定と連動します。

“” アイコンをクリックして on/off ができます



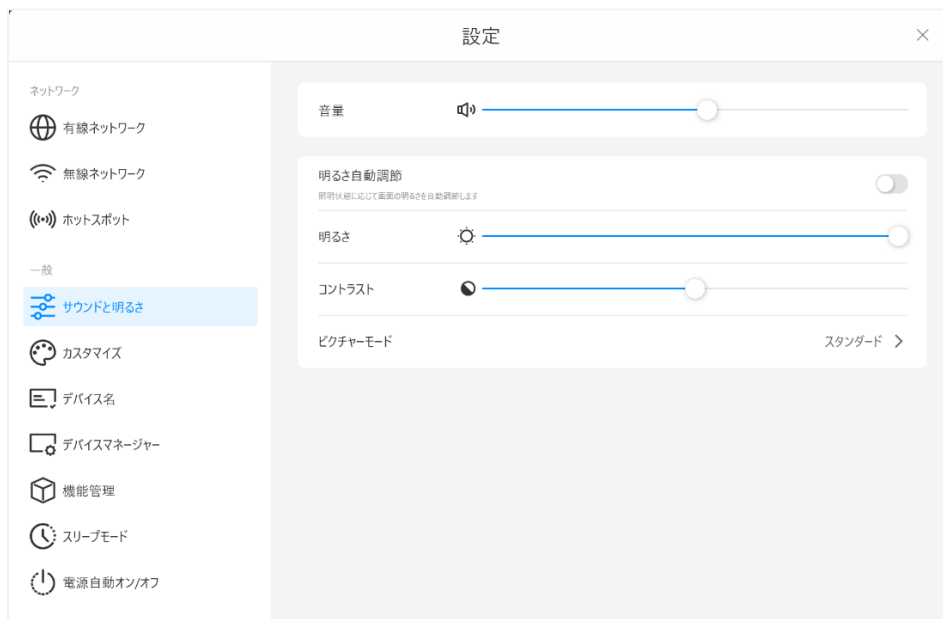
ホットスポット名 … ホットスポット名を変更できます。**必ず半角英数字で設定してください。**

ホットスポットパスワード …ホットスポットにアクセスするためのパスワードが設定できます。

ホットスポットシールドモード …ON にするとホットスポットに接続した端末のインターネット利用を制限できます。

SSID を非表示にします …ON にする SSID を非表示にできます

一般設定



- サウンドと明るさ…プログレスバーをクリックして音量と明るさの調節ができます。
- カスタマイズ…ホーム、壁紙、テーマの設定ができます。
- デバイス名…デバイス名の変更ができます。
- デバイスマネージャー…USB シールド、WOL サービス等の設定ができます。
- 機能管理…Windows 切り替えボタンの表示/非表示、Web 会議で使用するアプリ設定やペン検出機能の on/off、ができます。
- スリープモード…スリープモードの on/off ができます。
- 電源オン/オフタイマー設定…指定した時間に自動的に電源オン/オフします。

備考：本機の電源がオフになってから 24 時間以上経過した場合、自動電源オンは作動しません。

設定例（平日のみ 9 時に起動、18 時にシャットダウンさせたい時）



システム



■ メールサービス

お持ちのメールサービス Outlook や Gmail 等 と連携して、ホワイトボード機能で作成した資料を連携したメールアカウントから送付可能です。

機能の使用にはメールサービスのアカウントが必要になります。

※全てのメールサービスとの連携を保証するものではありませんのでご了承ください。

○設定例:Outlook アカウント使用時

送信 BOX …… メールアドレスを入力します(例:example@outlook.com)

ユーザー名 …… 自動でメールアドレスが入力されます(例:example@outlook.com)

パスワード …… メールアカウントにログイン時のパスワードを入力します

SMTP サーバー …… 使用する SMTP サーバー情報を入力します(例 : smtp.office365.com)

ポート …… 使用するポート情報を入力します(例 : 587)

受信 BOX 制限 …… 受信側のメールアドレスをドメイン名で指定可能です(例 : @nicemobile.jp)

設定しておく、メールアドレスを入力する際の手間が少なくなります。

各項目を入力後、設定ボタンを押すと設定が完了します。

※メールアカウントの設定でサードパーティ製のアプリとの連携が許可されていない場合、設定に失敗する場合がございますのでご了承ください。(社内の IT 管理者にお問い合わせください)

※1. Gmail は下記設定が必要になります。

- ① セキュリティ項目から「2段階認証プロセス」をクリック

Google アカウント

Google アカウントを検索

ホーム
個人情報
データとプライバシー
セキュリティ
情報共有と連絡先
お支払いと定期購入

Google アカウントについて

プライバシー 規約 ヘルプ
ユーザー情報

セキュリティ

アカウントを安全に保つために役立つ設定、おすすめの情報

おすすめのセキュリティ対策があります
セキュリティ診断で、推奨される対応が見つかりました

[アカウントを保護](#)

最近のセキュリティ関連のアクティビティ

Mac での新しいログイン	7月23日	>
アプリ パスワードを作成しました	7月6日・日本、福岡県	>
アプリ パスワードを削除しました	7月6日・日本、福岡県	>

[セキュリティ関連のアクティビティを確認 \(7件\)](#)

Google へのログイン

パスワード	前回の変更: 7月6日	>
2段階認証プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> オン	>

② 「使ってみる」をクリック



③ 認証用の電話番号を入力し、送信



④ 入力した電話番号宛に届いたコードを入力

Google アカウント

← 2段階認証プロセス

利用できるかの確認

Google から [redacted] に確認コードのテキストメッセージが送信されました。

コードの入力

受け取れなかった場合: [再送信](#)

[戻る](#) [次へ](#)

プライバシー 規約 ヘルプ
ユーザー情報

⑤ 「有効にする」をクリック

Google アカウント

← 2段階認証プロセス

2段階認証プロセスを有効にしますか?

2つ目の手順: Google からのメッセージ (デフォルト)
バックアップオプション: 音声またはテキストメッセージ

次のデバイスで [redacted] にログインしたままになります。Sony

他のデバイスからログアウトすることがあります。もう一度ログインするには、パスワードと2つ目の手順が必要になります。

[有効にする](#)

プライバシー 規約 ヘルプ
ユーザー情報

⑥ セキュリティ項目から「アプリパスワード」をクリック

Google アカウント

Google アカウントを検索

ホーム
個人情報
データとプライバシー
セキュリティ
情報共有と連絡先
お支払いと定期購入

Google アカウントについて

最近のセキュリティ関連のアクティビティ

2段階認証プロセスによるログインがオンになりました	14:04	>
2段階認証プロセスによるログインがオフになりました	13:59	>
Mac での新しいログイン	7月23日	>

セキュリティ関連のアクティビティを確認 (9件)

Google へのログイン

パスワード 前回の変更: 7月6日 >

2段階認証プロセス オン >

アプリパスワード なし >

Google による本人確認の方法

ログインしているのが本人であることを確認する場合や、アカウントで不審なアクティビティがあった場合に使用します

再設定用の電話番号 5 >

再設定用のメールアドレス >

プライバシー 規約 ヘルプ
ユーザー情報

⑦ 「メール」「Windows パソコン」を選択し、「生成」をクリック

Google アカウント

< アプリパスワード

アプリパスワードを使用すると、2段階認証プロセスに対応していないデバイス上のアプリから Google アカウントにログインできるようになります。このパスワードは一度入力すれば、以降は覚えておく必要はありません。 [詳細](#)

アプリパスワードがありません。
アプリパスワードを生成するアプリとデバイスを選択してください。

メール Windows パソコン

生成

プライバシー 規約 ヘルプ
ユーザー情報

⑧ 生成されたパスワードを MAXHUB メールサービスの送信ボックスパスワード欄へ入力



○デフォルトの受信者

送信先のメールアドレスを登録しておくことで、資料の送信時に送信先を選択できます。

- 言語の選択…使用言語の選択ができます。
- 日付と時間…本体の日付と時間の変更ができます。
- パスワード設定…

MAXHUB の設定画面にパスワードを設定できます。パスワードには、半角英数字が使用できます。アルファベットは大文字、小文字を区別して登録してください。

パスワード有効後にパスワード設定を解除した場合、再度有効にする際にもパスワードが必要になります。パスワードを失念した場合、工場出荷状態にリセットする必要がありますのでご注意ください。

- すべての設定をリセット

迅速に明確な設定…MAXHUB に関連する設定のみがリセットされます。

工場出荷時の状態を復元…工場出荷時の状態に本機がリセットされます。本機に不具合が起きた場合にご利用ください。

FAQ

1. スクリーンに霜が着く

LCD スクリーン保護のため、強化ガラスを使用しています。機種によって強化ガラスと LCD の間にエアギャップがあります。外気温との温度差により霜がつく場合がありますが、機能に影響はありません。

2. スクリーンが汚れる

清掃の際には、本機の電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。

汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。

3. 音が出ない

本機のボリュームを確認してください。または、接続している機器のボリュームを確認してください。

4. デュアルタッチペン以外で書けるのか

指、付属品以外のタッチペン（ペン先の太さは 2 mm 以上）でも書けます。最大 20 点までのマルチタッチに対応しています。

5. 長時間使用時に機器が熱くなる

業界標準に従って設計しています。異常発熱以外は問題ありません。健康にも影響はありません。

6. 長時間使用の場合目に悪影響はないのか

目の疲れはバックライトのちらつきが要因の一つと考えられます。周波数が 50 Hz 以下だと影響が大きいと言われていますが、この製品は 60 Hz と 120 Hz を使用しているため、目の疲労は低減されます。

※長時間のご使用は控えてください

7. プリンタへ出力したい

プリンタのドライバーをインストールすると、本機付属「ホワイトボード」に書き込んだ内容はプリンタにて印刷できます。通常ホワイトボードに書き込んだ内容は白黒印刷されます。ホワイトボードにイメージファイルが挿入されている場合はカラー印刷できます。

重量とサイズ

モデル	サイズ	NET 重量 (kg)	GROSS 重量 (kg)	本体サイズ L*H*D (mm)	梱包サイズ L*H*W (mm)
C55FA	55 型	28.15	37.4	1263*777*87	1428*878*220
C65FA	65 型	38.4	50.2	1489*903*87	1612*1025*220
C75FA	75 型	51.2	68.9	1710*1026*86	1860*1140*280
C86FA	86 型	65.55	87.6	1957*1166*86	2146*1326*280

トラブルシューティング

自動的にシャットダウンする

- 1) スリープモードになっていないか確認してください。
- 2) 入力信号があるか確認してください。入力信号がなければ自動的に省エネモードに入ります。
- 3) 電源ケーブルを確認してください。

電源ランプが点灯しない

- 1) AC 電源正常か確認してください。
- 2) 電源スイッチがオンになっているか確認してください。

電源ランプが赤色のまま、起動しない

- 1) 電源スイッチを押しても電源が入らない場合、全てのケーブルを抜いて、15 分後再度電源を入れてみてください。

画面の色がおかしい

- 1) HDMI ケーブルがきちんと接続しているか、ケーブル自体に問題がないか確認してください。

画像は映るが音が出ない

- 1) 本機の音声を調整してください。または接続している機器の音声を確認してください。
- 2) 接続している機器とオーディオケーブルがきちんと接続しているか確認してください。

タッチの位置がずれている

- 1) タッチペンあるいは指がスクリーンに対して、90 度になっているか確認してください。
- 2) スクリーン上に異物がないか確認してください。

タッチが効かない

- 1) 外付け PC を使用している場合、タッチケーブルがきちんと接続しているか確認してください。
- 2) ベゼルの内側を柔らかい布で拭き取ってください。

ユーザーサポート・お問い合わせ窓口は
保証書に記載のある番号までお問い合わせください。